

脂質ペルオキシラジカルスカベンジャー能を有するフェロトーシス抑制剤

臨床使用可能な既存薬にフェロトーシス抑制効果を確認

概要

フェロトーシスは脂質の過酸化が誘因となって引き起こされる細胞死の一種で、急性臓器障害や神経変性疾患などへの関与が注目されている。発明者らはかぜ薬や抗菌薬など一般的に使用される薬の中からフェロトーシスを抑制する作用を有する候補薬を複数特定した。

候補薬は以下の通りである。

プロメタジン、オメプラゾール、インドール-3-カルビノール、リファンピシシ、カルベジロール、プロプラノロール、エストラジオール、甲状腺ホルモン

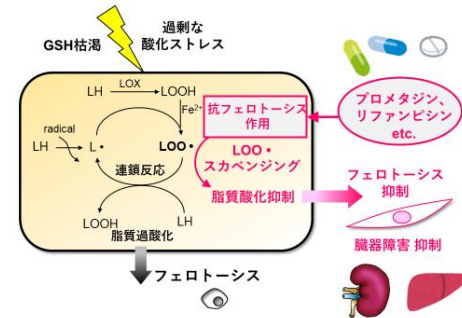
これらの薬剤は、腎臓や肝臓の組織障害を軽減することが確認されており、フェロトーシスが関与する様々な疾患の治療への応用が期待できる。

応用例

- 心臓や腎臓の虚血再灌流障害、脳卒中等の虚血性疾患の治療薬
- ALS、パーキンソン病、アルツハイマー病、ハンチントン舞踏病などの神経変性疾患の治療薬
- 脂肪性肝炎、慢性閉塞性肺疾患などの治療薬

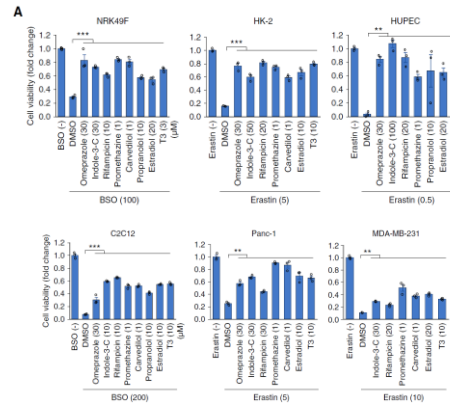
知的財産データ

知財関連番号 : 特開2021-95359
 発明者 : 三島 英換、仲川 清隆、山田 健一
 整理番号 : T19-370

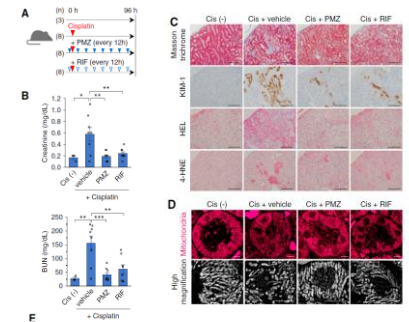


性能・特徴等

どの細胞系においてもフェロトーシス抑制効果を発揮



シスプラチンによる急性腎障害を改善



関連文献

[1] JASN 31(2):p 280-296, February 2020
<https://journals.lww.com/jasn/pages/articleviewer.aspx?year=2020&issue=02000&article=00008&type=Fulltext>

お問い合わせ

本資料をダウンロード



お問い合わせ

<https://www.t-technoarch.co.jp/contact.html>



発明案件を随時更新中

<https://www.t-technoarch.co.jp/anken.php>



LinkedIn ページをフォロー

<https://www.linkedin.com/company/tohoku-techno-arch>



Leading you to Successful Industrialization



株式会社

東北テクノアーチ

TOHOKU TECHNO ARCH